

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが

住んでよかった
と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控室 TEL 740-1111 (内線4020)

直営FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodemich.exblog.jp



川西市が公共施設の再配置計画発表

住んでよかったと思える街へ、みなさんの声を

中央北地区に「複合施設」建設など

住民の声を生かした街づくりを

川西市は今年度予算とあわせ、中央北地区整備事業などに伴う「公共施設の再配置計画」を発表しました。住んで良かったと思える街作りへ、みなさんからもいろいろな意見をお寄せください。

中央北地区

整備事業関連では

（加茂幼稚園はH28年度）
また、市民体育館（向陽台）

- ① 生涯学習センターをアステ川西に移転し、リニユールオープン
- ② 換地の障害になる中央北地区内のシルバー人材センター、セオリア、放置自転車保管棟、旧解放会館を移転
- ③ 中央北地区内に文化ホール、公民館、福祉施設などを包含した複合施設を新築
- ④ 消防本部を新築

住民に情報提供を

日本共産党議員団は、街づくりについて①南北部に細長く山坂の多い川西のまちづくり全体のバランスを十二分に考えること②住民が理解と納得が得られるよう優先順位を明確にすること③アステ川西やパルティ

学校耐震化は2015年度

日本共産党議員団が早期実施を求めてきた、幼稚園・小・中学校、保育所の耐震化工事は2015（H27）年度までに終了の計



*「歩行者が歩きやすくなりましたね。」（一）一の鳥居駅前工事完了
元気に活動中!

*「明るくなって安全です。」丸山台にLED街灯設置
美山台の遊歩道に街灯設置
* たいだいま兵庫県の借上住宅の期限切れ問題で調査中!

*日本共産党としての財源確保（能力に応じた納税）や、社会保障拡充政策を訴え（川西能勢口）（一）堀内照文さん（衆議院近畿ブロック比例）（一）吉見秋彦さん（兵庫6区）



私（黒田）は毎月1回、早朝に日生中央・山下・畦野一の鳥居・川西能勢口の駅前で議会報告を欠かさず実施。（木曜夕刻は川西能勢口で）毎月9日は九条守れなど平和の取組み、15日は子どもや高齢者の医療費無料化、国保税引下げなど命の取組み、24日は消費税増税反対の署名宣伝活動を定期的に行っています。

また、地域では、議会報告会や様々な署名活動、議会報告スポンツ宣伝など、みなさんに支えていただいで元気一杯活動しています。ぜひ、これからもいろいろ教えてください。

川西病院 ちょっと前へ

診療日増え、健診の補助拡大

市立川西病院は、新しいお医者さんが来られて下記のように外来診療の日数が増え、「内科」は「消化器内科」「循環器内科」等名称変更しています。また、健康診断の補助も増えました。

- ☆耳鼻いんこう科 週3日の外来診療が、月曜～金曜の毎日診療になりました。
- ☆整形外科 週2日の外来診療が、月・水・金の3日間診療になりました。
- ☆人間ドック助成 23,000円〔改訂前16,500円〕
 - ・一般健診コース 42,000円（自己負担19,000円）
 - ・生活習慣病コース 68,250円（自己負担45,250円）
- *市保健センターの半日ドック 33,000円（自己負担10,000円）
- ★がん検診無料に（国保）肺、前立腺、胃、大腸、子宮頸がん検診が無料（対象年齢など詳細は健康づくり室758-4721）

黒田の声

今年は花粉症がひどい。杉、ひのき、黄砂・・・喉が痛くて目が覚める。黄砂、あんなに遠くから飛んでくるものだ、と感心する。車のフロントガラスが汚れ、喉の腫れや痛みが、黄砂が飛んできたことを教えてくれる。放射能はわからない。色も匂いもない。自覚症状もない・・・。福井県大飯原子力発電所の再稼働が問題になっている。福島原発の事故原因もわからない、収束もできていない、廃棄物の処理もできない・・・。机上の計算で安全だ安全だと連呼する。「動かしたいから動かす！」ってまるでだっ子だ。（こどもにも失礼だが・・・）住民は今、再稼働は行うべきじゃないと伝えている。日本の国だけの問題じゃなく、地球規模の大問題だ。今、再稼働したら自殺行為だ」と新聞の投書欄。いや、自殺行為ではなく、殺人行為だ。自分達の傲慢さに気づき謙虚になるべきだ。儲けるために地球を壊してはならない。欲得で人殺しをしてはならない。

草の根から共同を 4・12集会

野田政権が狙う消費税増税に反対する国民的な共同を広げようと「消費税増税ストップ! 4・12国民集会」(同実行委員会主催)が12日、東京・日比谷野外音楽堂で開かれました。全都道府県から会場の外にまであふれる5000人を超す参加者が駆けつけ、消費税増税阻止の世論と運動を地域のスミズミに広げて国会を包囲しよう、と呼びかけるアピールを採択しました。

東京・日比谷



消費税増税ストップ! 4・12国民集会

志位委員長あいさつ

お集まりのみなさん、こんにちは(「こんにちは」の声)。私は、日本共産党を代表して熱い連帯のあいさつを送ります。(拍手)

野田政権は、消費税増税法案を国会に提出し「命がけ」で成立させるといっています。しかし、どんな世論調査でも、50%以上から60%の国民が反対です。(拍手)

暮らしと経済を ドン底に突き落とす

国会論戦を通じて、今回の消費税増税計画の三つの悪影響が浮き上がってきました。

第1の悪影響は、暮らしと経済をドン底に突き落とすこと(「うごと」)です。

1997年に橋本内閣によって強行された消費税増税への増税をはじめとする9兆円の負担増は、所得と消費が伸びるもので、それを上回る



志位委員長あいさつ

民が、「反対」と答えているではありませんか(「そうだ」の声)。それは、首相がどんな理屈を言おうと、「命がけ」と力もうと、増税が強行されたら「暮らしが立ち行かない」「営業が続けられない」という現実があるからではないでしょうか。(「その通り」の声、拍手)

中小企業団体の調査では、消費税が引き上げられた場合、販売価格に転嫁できるかという問いに対して、5割から7割が「転嫁できない」と答えています。現在の5%でも、多くの中小企業は転嫁できず、保険を解約

財政危機をさらに深刻にする

第2の悪影響は、財政危機をさらに深刻にするという問題です。政府は、消費税を増税すれば、「社会保障の安定財源確保と財政健全化を同時に達成する」と財政がよくなるかのようなことを言っていますが、真実はどうでしょうか。

消費税を5%に増税した前年の1996年度と、直近の2010年度の増税を比較します。

増税を比較すると、たしかに消費税の増税は増えていますが、他の税収が大きく落ち込み、税収の総額は90兆円から76兆円に14兆円も落ち込みました。14年間の累計で税収が減りました。その分、財政危機が深刻になったのであります。

社会保障改悪との「一体改悪」

第3の悪影響は、「社会保障と税の一体改悪」と、あなたも社会保障が良くなるかのような宣伝をしていて、これがまったくのウソだということ(「うごと」)です。

消費税は「社会保障のため」という言い訳は、今にはじまったことではありません。1989年にこの税金を導入したさいにも、97年に増税したさいにも、最大の言い訳は「社会保障のため」でありました。それは消費税導入から23年

「ムダ一掃」と「応能負担」の原則に立った税制改革を

消費税増税の道は、暮らしも、財政も、経済も壊す、先のない道です。消費税に頼らない別の道を真剣に探さなければなりません。私たち日本共産党は、そのための「提案」を、富裕層と大企業への減税のバラマキが行われませんでした。両方があるに、税収の深刻な空洞化を招いたのであります。

消費税を増税しても、経済が悪くなれば、全体の税収は減ります。消費税増税は「社会保障の安定財源」などにはなりません(拍手)。それは、財政危機を深刻にするだけだ(「うごと」)。

その最大の理由は、消費税増税をきっかけに、景気が悪化し、日本経済が長期の低迷と後退に陥ったこと(「うごと」)にあります。

押しになっており、す。「一体改悪」といいますけれども、消費税増税と社会保障改悪の「一体改悪」というのがその正体ではありませんか。(「うごと」の声、拍手)



国民の所得を増やす経済改革を

二つ目は、国民の所得を増やす経済改革を、労働者派遣法を本心に抜本改正して「雇用は正社員が当たり前の社会」をつくらなければならない(「うごと」の声、拍手)

最低賃金を大幅に引き上げて、この日本から「働く貧困層」をなくしていく(「うごと」の声、拍手)

中小企業と大企業の公正な取引ルールをつくらせていきます(「うごと」の声、拍手)

国民の声で増税勢力を包囲し、増税法案を廃案に

消費税に頼らなくても、社会保障を充実し、財政危機を打開する別の道がある。ここに確信をもって、消費税増税反対の声を広げに広げ、増税勢力を包囲し、増税法案を廃案に追い込もう(「うごと」の声、拍手)

新しい視点 展望しめす
しんぶん 赤旗
日刊紙●月3,400円
日曜版●月 800円

をお読みください